

報告第1号

令和7年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について

令和7年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について、別紙のとおり
報告する。

令和8年6月21日提出

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉 本 厚 夫

令和 7 年度

公益財団法人宇治市野外活動センター

事 業 報 告 書

令和7年度 公益財団法人宇治市野外活動センター 事業報告書

I. 年度総括

当法人は令和4年度からの5年間、指定管理者として宇治市総合野外活動センター運営を受託している。

お客様がアクトパル宇治を創り育てる人となっていただけるよう、Make it together をキーワードにして、笠取の自然の中で豊かな心や公共心を涵養できるよう次の3つのミッションを柱とした事業を展開した。

- 豊かな自然の中で野外活動を楽しみながら日常生活を見直し、環境について考える機会を提供する。
- 自ら学び自ら考える力を育むことができる教育施設として、活動の場を提供する。
- 地域に根づいた事業を展開し、笠取地域の活性化、宇治市さらには近隣地域のグリーン・ツーリズムに貢献する。

令和4年度より導入された利用料金制度を自立した経営力を発揮するチャンスにとらえ、お客様のニーズに合わせたオンライン予約の導入やオートキャンプエリアの拡張、予約不要工作イベントの追加開催等、収益増に向けた取り組みを進めるとともに、各種委託業務契約の内容や利用申請手続きの見直し等、必要経費の削減にも努めてきた。

また、学生団体や民間事業者との連携事業、さらには外部補助金を活用したイベントの開催など、新たな試みにも積極的に取り組み、利用者層の拡大と施設の認知度向上に努めた。

施設管理においては経年による消耗・劣化箇所の点検修理を実施、緊急的な修繕も適宜実施し、お客様に安心安全にご利用いただけるよう努めた。

有限会社笠取ファームとは連携を密にし、イベント協力や新規メニューの販売等、必要に応じて協議の場を設けた。

その結果、年間総利用者数は96,163人となり、前年度実績をわずかに下回ったものの概ね前年並みを維持した。また、利用料金収入は34,834,120円となり、前年度比148,510円の増収となった。

一方で令和7年度においても社会情勢の影響により電気料金が予算額より大幅に値上がりしており、当初予算比で約280万円の支出増となった。光熱費の高騰や最低賃金上昇による人件費の負担増が収支に大きな影響を与えることになったため、宇治市とのリスク分担協議の結果、指定管理料を約480万円追加する形で指定管理変更協定を締結した。

今後も利用者ニーズを的確に捉えた事業展開と効率的な施設運営に努め、さらなる利用促進と収益力向上を図っていく。

Ⅱ. 事業内容

1. 指定管理業務

宇治市より「宇治市総合野外活動センター アクトパル宇治」の指定管理業務を受託した。

(1) 施設利用【宇治市総合野外活動センター管理運営事業・活動支援事業】

(宇治市総合野外活動センター管理運営事業)

お客様に安全・安心、快適に施設を利用していただけるよう維持管理を行い、施設を良好に管理する。あわせて、施設使用の予約受付から申請許可、使用料の徴収等、施設運営に係る業務を行った。

教育活動、レクリエーション活動の場として学校・団体利用の促進を図るとともに、お客様満足度の向上や地域貢献につながる事業を展開した。

年間総利用者数は 96,163 人となり、前年度実績をわずかに下回ったものの概ね前年並みを維持した。また、利用料金収入は 34,834,120 円となり、前年度比 148,510 円増収となった。

利用者数（目標値）

《宿 泊》	29,963 人 (33,000 人)	R6 実績 30,335 人
《日帰り》	66,200 人 (74,000 人)	R6 実績 66,533 人
《合 計》	96,163 人 (107,000 人)	R6 実績 96,868 人

使用料収入（目標値）

34,834,120 円	(38,000,000 円)	R6 実績 34,685,610 円
--------------	----------------	--------------------

また電気料金が社会情勢の変化による影響で高騰し、節電に努めたものの当初予算額より約 280 万円の増額となった。

光熱費（電気料金）の高騰、厨房工事期間の食堂従業員の休業補償、最低賃金の上昇に伴う人件費影響分について、宇治市とのリスク分担規程に基づき令和 7 年度は指定管理料を約 480 万円追加する形で指定管理変更協定を締結した。

令和 7 年度の主な取り組み

【収益強化に向けた取り組み】

○学校・団体利用の促進

- ・小学校の宿泊利用を促進するため、宿泊学習プランを作成し関係校へ送付するなど、積極的な広報活動を実施した。
- ・「スポーツ合宿プラン」および「研修プラン」のチラシを作成し、近隣の高校・大学・スポーツ団体・企業等に対して案内・配布を行い、新規団体の利用促進に努めた。
- ・ボーイスカウト団体向けに「自然体験」パンフレットを配布し、利用機会の拡大を図った。
- ・団体の利用ニーズに柔軟に対応するため、要望に応じて休所日の臨時営業を実施するなど、利

用促進とサービス向上に取り組んだ。

団体利用数実績（R7 目標値）

林間学習利用実績 37 校（55 校）（R6 実績 50 校）

企業研修利用実績 12 件（11 件）（R6 実績 7 件）

スポーツ合宿利用実績約 82 件（75 件）（R6 実績 70 件）

○グラウンド・ゴルフ利用の促進

- ・愛好家をはじめ、幅広い層にご利用いただけるよう令和 4 年度から始めた回数券販売を継続し、利用促進につなげた。
- ・食事とセットにしたグラウンド・ゴルフ割引プランを販売した。（GG+鍋焼きうどんセット）
- ・芝生の生育状況に合わせ、適宜芝刈り、施肥、雑草駆除等のメンテナンスを実施した。

○会議システムの整備

- ・研修室においてワーケーション利用や企業や学校の会議スペースとしても活用できるようリモート会議の設備を整えた。

○工作プログラム、天体観察、農業体験（活動支援事業）

お客様が施設を利用されるにあたり円滑に活動できるよう、天体観察プログラムを案内する天文ボランティアの調整や、創作活動の補助、農業体験の実施調整等の支援を行った。

また、より充実した活動プログラムの開発を行うための野外活動等に関する最新情報の収集を行った。

（R7 目標額）収入 300 万円 支出 140 万円 収支差額 160 万円※天体ボランティア費用除く

（R7 実績）収入約 265 万円 支出約 118 円 収支差額約 147 万円

（R6 実績）収入約 269 万円 支出約 125 円 収支差額約 143 万円

活動支援事業例

◇天体観察での天文プログラムの実施

◇陶芸や木工作品等の創作活動の指導・助言

- ・利用状況を踏まえプログラムを見直し、新規メニューを追加した。
- ・仕入れ価格の高騰に伴い、一部プログラム料金を改定した。

◇「工作棟オープンデー」

- ・工作プログラムの利用促進をはかるため、予約不要で各種クラフト体験ができるイベントとして実施した。工作棟の空きがある日にも追加で開催した。

◇「つくってあそぼう！」

- ・管理棟ホールで簡単にできる工作プログラムを提供した。

◇農業体験やふるさと体験の提供

◇林間学校・スポーツ合宿等でのプログラム相談

○広報・PR 活動

- ・ホームページで施設予約状況、イベント情報等、最新の情報発信を行った。
- ・メールアドレス登録者に対して、メール配信により情報提供した。(令和8年3月現在登録者数約3,500人)
- ・令和4年度より SNS (Instagram X Facebook) を毎日更新しており、フォロワー数も伸びている。(令和8年3月末現在 Instagram 1,958 人、 X 1,295 人、 Facebook 648 人)
- ・キャンプ場案内サイトへの施設情報を掲載した。(デジキュー、なっぷ)
- ・地域情報発信 web サイトへ情報提供した。(ALCO、号外ネット、京都 Living、きょうとくらす)
- ・TV 媒体の取材に協力し、施設を紹介いただいた。(KCN 京都)
- ・アニメ「響け！ユーフォニアム」の聖地巡礼でお越しになるファン向けに施設見学マップの配布や案内を行った。
- ・令和5年度よりアルペンアウトドアーズ宇治店と相互集客の提携を結び、アルペン店頭で利用案内、合宿利用プラン等のチラシを配架した。

【サービス向上に向けた取り組み】

○Web 予約システムの導入

外部サイト「なっぷ」を利用し、日帰り炊事棟利用のオンライン予約を開始した。

○お客様意見・クレームへの対応

- ・施設ご利用のお客様にアンケートやインタビューを実施し、ご要望や不満な点をくみあげ改善につなげた。
- ・イベント参加者には Web アンケートを導入し、回答と集計の効率化を図った。

○トイレ設備の改善

- ・将来的なトイレ改修に向け、現状の調査を実施し課題を把握するとともに、改修方針について協議を進めた。
- ・トイレ芳香剤自動噴霧器を設置した。

○キャッシュレス決済の活用

- ・現金以外の支払い方法に対応するため、令和4年度からクレジットカード、電子マネー等が利用可能なキャッシュレス決済を導入している。令和7年度も継続しており、キャッシュレス決済利用率は約30%となっている。

○予約手続きの簡便化

- ・宇治市とも協議の上、施設の予約申請手続きの一部を簡便化し、お客様の手続き負担を軽減するとともに郵送費、事務作業の縮減を図った。

○施設修繕の取り組み

- ・アスレチックや常設テントの劣化部分の修繕をはじめ、安全に施設をご利用いただけるよう適宜点検・修繕を実施した。
- ・大規模修繕については宇治市と協議、調整の上、管理棟・体育館の天井耐震改修工事の設計、ならびに施設内電話設備の更新を実施いただいた。

(令和7年度修繕費 3,458,553円)

○有限会社笠取ファームとの協力体制

- ・植栽管理ならびに清掃作業を委託し、清潔感と開放感あふれる環境を維持した。
- ・日常的な課題や業務改善に向けた取り組みについて、毎月定例会議を実施した。
- ・農業体験、ふるさと体験、各種イベント開催にあたって連携し、お客様と地域住民との交流の場を提供した。

○宇治市との連携

- ・宇治市教育委員会の担当部署である生涯学習課と月1回の定例会議を開き、施設の最新状況や修繕計画等について協議し、連携を密にした。
- ・宇治市のふるさと納税返礼品として各種宿泊券を提供した。
- ・宇治市子どもの読書活動推進委員会との連携事業として管理棟ホール図書コーナーを子ども読書コーナー「えほんの森」スペースとして整備しており、利用者により一層読書を楽しんでもらえるよう環境の充実を図った。
- ・イベントにあわせて宇治駅～アクトパル間で市の公用バスを運行し、利用者の利便性向上に努めた。
- ・宇治市の「二十歳の集い」参加者にアクトパルの炊事棟利用クーポンを配布した。



(2) 利用促進イベント【野外活動奨励事業】

市民が気軽に野外活動に親しめる機会を提供するとともに、幅広い層に野外活動センターの利用が促進されることを目指して予約不要のイベントを開催した。

	人数	収入	支出	収支差額
令和7年度目標値	10,000人	0円	28万円	－28万円
令和7年度実績	7,356人	0円	約24万円	－約24万円
令和6年度実績	9,064人	0円	約62万円※	－約62万円

※25周年記念ノベルティー費用含む

事業一覧

春のグラウンド・ゴルフデー、春まつり、親子で楽しむグラウンド・ゴルフの日（春・秋）、アクトパルであそぼう！、山であそぼう！、秋まつり、ハロウィンをたのしもう！、わいわいホリデー（夏・冬）、体育館であそぼう、笠取交湯会、新春笠取市、星空オープンデー



(3) 収益イベント【活動体験事業】

丁寧なサポートと充実したプログラムを提供するために、定員を設けた有料イベントを年間を通して企画・実施し、生涯学習の推進を図った。

親子で参加しやすい初心者向けの単発プログラムを中心とする一方、野外活動に深く興味を持ってもらう連続企画や年間を通じた登録制のクラブも実施した。（各イベント詳細は別紙資料1参照）

	収入	支出	収支差額
令和7年度目標値	490万円	270万円	220万円
令和7年度実績	約358万円	約238万円	約120万円
令和6年度実績	約337万円	約211万円	約126万円

① 自然・文化・農業

笠取ならではの自然を生かした体験や農業体験、また笠取に古くから伝わる文化に触れる体験イベント。

事業例

春の野草探しと天ぷらづくり、アクトパルで米作り（連続企画：田植えから収穫まで）、宇治茶を知ろう、じゃがいも畑のくいしん坊、生き物調査隊、クイズラリー
虫ムシ大作戦、いもほり&クッキング、ピニャータ割り、ふるさとを味わおう、

野菜をつくろう！（連続企画：玉ねぎとじゃがいも～植え付けから収穫まで～）、
秋のピクニック、ミニ門松・鏡餅づくり&もちつき、原木しいたけ物語、ふるさとハイキング、
天文教室、グラウンド・ゴルフ大会、エッグハント、炊事棟オープンデー



② アウトドア体験

初心者がアウトドアを楽しむためのちょっとしたコツをアドバイスして、アクトパルの炊事棟やキャンプ道具をご利用いただきスキルアップできるイベント。

事業例

バウムクーヘンをつくろう！、アウトドアクッキング（ピザ作り）、
燻製をたのしもう！、ダッチオーブンでケーキをつくろう！、BBQをたのしもう！、
アウトドアクラブ（年5回連続企画）



③ 手作り体験

施設近辺で取れる自然素材を使ったり、工作棟で電動工具や陶芸窯を使ったりとアクトパルならではの手作り体験ができるイベント。

事業例

陶芸教室入門編、流しそうめんセットをつくろう！、夏休み親子工作デー、
アクトパルそば道場、クリスマスリースをつくろう！、陶芸教室ろくろ編、
親子で楽しむ木工教室、アクトパルうどん道場、陶芸クラブ（年間登録制）



2. その他自主事業 財団自主事業（収益事業・公益事業）

施設外でのイベント開催や外部事業者との提携を図るなど、設置施設の枠組みにとらわれない柔軟な事業展開を行った。

食堂及び売店運営業務を有限会社笠取ファームに委託し、地域の特徴を生かした食事提供や物品販売を行った。

お客様のニーズにこたえ利便性を高めるため、新たな利用プランや貸出物品を追加した。

収益事業

（目標額） 収入 160 万円 支出 25 万円 収支差額 135 万円

（実績※） 収入約 169 万円 支出約 59 万円 収支差額約 110 万円

（前年度実績） 収入約 182 万円 支出約 63 万円 収支差額約 119 万円

※体験事業からその他自主事業に振り替えたオータムキッズキャンプ分を含む。

・食堂売店運営を笠取ファームに委託

食堂では地元笠取産の米を使用した食事を提供した。

売店やイベントで野菜や特産物の販売を実施した。

鍋焼きうどんとグラウンド・ゴルフをセットにした割引プランを提供した。

・出張教室の実施

木幡公民館、宇治市植物公園でのイベントに出店し、工作プログラムを提供した。

・アクトパル宇治で結婚披露宴の実施を希望された利用者に対し、施設特性を生かした特別な利用プランの提案および運営支援を行い、利用者ニーズに柔軟に対応したサービス提供に努めた。

・お客様の利便性を高めるため、キャンプグッズの有料貸出を追加した。

・利用の少なかった三角広場、北の広場をオートキャンプ場として活用し、オートキャンププランを販売した。利用されたお客様にもご意見を伺い、宿泊区画を4区画から6区画に拡張した。

・常設テントの利用促進を図るため、特別プラン「森と星キャンプ」を提供した。展望デッキでのBBQや電源の設置、春夏と秋冬で設備を入れ替え年間通して快適なキャンプ空間を提供した。

・イベントや休日にキッチンカー出店機会を拡大し、食事提供のバリエーションを拡大した。

・公衆浴場営業許可を取得し、大浴場の日帰り入浴サービスを提供した。

・独立行政法人国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金」を活用し、小学生を対象としたキャンプイベント「オータムキッズキャンプ」を開催し、自然体験活動の機会提供と青少年の健全育成に寄与した。





公益事業

収益を求めず、公益に資する事業として事業を実施した。

- ・宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議「eco ット宇治」と共同で森林保全活動「どんぐりプロジェクト」に取り組み、里山保全活動をPRした。
- ・山間地域で高齢者も多い笠取地域の皆様に気軽に利用いただけるよう、宇治市立図書館と連携して図書配本サービスを提供することで、地域サービス向上に貢献した。
- ・立命館大学の学生団体「Clown」の活動に協賛し、施設内にツリーハウスを設置するとともに、9月13日には完成お披露目イベントを開催し、新たな魅力創出と施設の活性化に取り組んだ。



理事会・評議員会開催状況

(1)理事会

回 数	開催日時	番 号	件 名
第1回	令和7年5月24日	議案第1号	令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について
		議案第2号	令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について
		議案第3号	令和6年度指定管理者事業報告について
		議案第4号	令和6年度宇治市出資法人自己評価報告書の提出について
		議案第5号	令和7年度第1回評議員会の招集について
		報告第1号	代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
第2回	令和7年6月28日	議案第6号	代表理事の選定について
		議案第7号	業務執行理事の選定について
第3回	令和8年3月6日	報告第2号	令和7年度宇治市総合野外活動センター利用状況及び事業実施状況について
		報告第3号	代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
		議案第8号	令和8年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について
		議案第9号	令和8年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について
		議案第10号	役員賠償責任保険の継続加入について
		議案第11号	令和7年度第2回評議員会の招集について

(2)評議員会

回 数	開催日時	番 号	件 名
第1回	令和7年6月28日	議案第1号	定款の一部変更について
		報告第1号	令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について
		議案第2号	令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について
		議案第3号	理事・監事の選任について
		議案第4号	評議員の選任について
		報告第2号	令和6年度指定管理者事業報告について
		報告第3号	令和6年度宇治市出資法人自己評価報告について
第2回	令和8年3月21日	報告第4号	令和7年度宇治市総合野外活動センター利用状況及び事業実施状況について
		報告第5号	令和8年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について
		報告第6号	令和8年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について
		報告第7号	役員賠償責任保険の継続加入について

理事・監事・評議員名簿

(1) 理事・監事名簿

(令和8年3月31日現在)

役 職 名	氏 名
代表理事	杉本厚夫
業務執行理事	西川治
理事	岩崎弘之
理事	鬼塚慎一
理事	藤原千鶴
監事	國谷和正
監事	井内徹

(2) 評議員名簿

(令和8年3月31日現在)

役 職 名	氏 名
評議員	久世谷幸治
評議員	橋本佳延
評議員	松林俊幸
評議員	藤田瞳
評議員	安田修治